

## 当上半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は23,842百万円と、前年同期比で6.8%の減少となりました。利益額につきましても、営業利益は2,677百万円(前年同期比49.5%減)、経常利益は2,828百万円(前年同期比48.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,661百万円(前年同期比49.9%減)とそれぞれ減少となっております。前年同期に東京オリンピックに伴うイベント施設及び新型コロナウイルス感染症対策のための医療関連施設等の大型物件の計上があったため、前期と比較して売上高、利益額ともに低くなっておりませんが、通期の業績見通しにつきましては概ね予想通りに進捗しております。

モバイルスペースのレンタルについては、前期の大型物件計上の影響により、売上高は前年同期比7.3%減となっております。一方で、出荷棟数、稼働棟数については、大型物件の影響を除けば前年同期と同程度であり、堅調に推移しております。

モバイルスペースの販売及び工事売上については、引き続き店舗網の整備に注力しており、新規店舗の開設に加えて既存店舗のリニューアルを進め、体制の強化を図っております。現在全国展開を開始している展示場の新ブランド「MOPAQ(モパック)」により、来場者数の増加だけでなく顧客層も拡がりを見せており、新たな需要の開拓につながっております。また、ホームページの問い合わせ数も前年を上回って推移しております。売上高は、レンタルと同様に前期の大型物件計上の影響により、前年同期比9.1%減となっているものの、こちらも概ね予想通りに進捗しております。

不動産賃貸事業についても着実に事業を拡大しております。レンタルスペースについては順調に店舗数が増加し、当第2四半期連結累計期間末においては37店舗となっております。トランクルームについてもルーム稼働率は一定水



飲食店外観



飲食店内観



会社事務所外観



会社事務所内観

準を維持しており、売上高は前年同期に比べ4.9%増となっております。

設備投資については、レンタル資産や展示場等の店舗設備を中心に継続的に実施しており、投資額は6,112百万円となっております。その影響により、建物及び構築物は前期末に比べ1,407百万円増加しておりますが、総資産額は前連結会計年度末に比べ3,584百万円減少し、66,033百万円となりました。変動の大きかった主なものは、現金及び預金の減少2,492百万円、営業未収入金の減少1,812百万円、建設仮勘定の減少1,069百万円などです。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ4,437百万円減少し、21,423百万円となっております。変動の大きかった主なものは、仕入債務の減少1,361百万円、その他の流動負債の減少980百万円、短期及び長期借入金の純減957百万円、未払法人税等の減少955百万円などです。

純資産額は前連結会計年度末に比べ853百万円増加して44,610百万円となっており、自己資本比率は67.6%と安定した状態を保っております。



保育施設外観



薬局内観

### MSLエクストラスペース新発売

10月よりMSL単体専用シリーズの新パッケージ製品「MSL エクストラスペース」の販売を開始しました。「もう一つの特別な部屋」をコンセプトに、断熱性能を強化し、オプションを追加することにより、居住性・デザイン性を高めています。コロナ禍を通じて生まれた新しいライフスタイルに合わせ、はなれや趣味の部屋、書斎やテレワークスペースなど、個人、法人を問わず様々な用途でご利用いただける、特別な空間をご提供します。



外観



内観